

# 小峰町長に聞く

3期目がスタート

7月10日に投開票が行われた町長選挙で、小峰孝雄氏が再選を果たしました。

人口減少とともに、急速に進む少子高齢化。そのなかで効果的な対策が求められるニュータウン地区の再生と北部地域の活性化。健全財政を堅持しながら、これらの大きな課題に取り組むとともに、きめ細やかな行政サービスの維持も必要です。

そこで、3期目のスタートにあたり小峰町長に、まちづくりの決意と抱負を広報担当が伺いました。



工事が進む「福祉・健康複合エリア」の特別養護老人ホーム(写真右手の建物)と、地域包括ケアセンター建設地(写真左手奥)

## 埼玉県内で最も高い、鳩山町の高齢化率 健康づくりを土台として、対策を着実に推進

鳩山町の課題を、どのようにお考えですか。

町長 大きな課題は、人口減少のなかで、少子高齢化が急速に進んでいることです。

人口は平成7年からの20年間で、約3500人減少しています。少子化については、鳩山町の平成26年の出生率は2.8で、県下最下位です。

一方、高齢化率は県内で最も高く、平成28年4月現在、38.2%となっています。とりわけ鳩山ニュータウンの高齢化率は、46.2%と、より高い状況です。まさに危機的な数字ですが、

特効薬のような対策はありません。そこで私は、町長就任当初から、健康づくりの推進を土台として、町づくりに取り組んできました。また、高齢者の移動手段を確保するため、デマンドタクシーも導入しました。

健康づくりについては、具体的な成果も出ていますね。

町長 埼玉県が5月に発表した最新データでは、鳩山町の健康寿命は男女とも第1位となりました。これは、私の念願のひとつでした。また、デマンドタクシーは、高齢化が進む中で、運転免許を持たない人、運転が困難な人

も町内を自由に移動できる手段として、導入したものです。運行開始からの累計利用者数は10万人を越え、現在も年間約2万人が利用しています。このデマンドタクシーも健康づくりの一助になっていると考えています。

高齢化に対する今後の対策を、どのようにお考えですか。

町長 高齢化対策の柱は、「この鳩山で、いつまでも安心して暮らせるまちづくり」です。具体的には「地域包括ケア」の推進であり、その拠点エリアとして、旧松栄小学校の敷地を活用して福

祉・健康複合エリアを整備しています。この複合エリアは、特別養護老人ホーム、地域包括ケアセンター、多世代活動交流センター(旧松栄小学校校舎)の3施設を中心としており、特別養護老人ホームは今年の秋、地域包括ケアセンターは来年の春過ぎに開設予定です。

少子化に対する対策は、いかがですか。

町長 今年度当初から「病後児保育事業」を「病児・病後児保育サービス」に拡充しています。同じく年度当初より「多子世帯およびひとり親家庭等保育料軽減措置事業」にも取り組んでいます。また、できれば今年度後半に、「結婚新生活支援事業」を実施できないか、担当部署と調整をしています。

## ニュータウン再生・北部地域活性化 町の課題を踏まえ 地方創生事業として推進

次に、今後4年間の主要政策についてお聞かせください。

町長 取り組むべき主要政策は鮮明です。ニュータウン再生と北部地域活性化です。この2つの政策を推進することにより、人口減少と少子高齢化への対応を図り、その成果を町全体に広め、鳩山町を「住みたいまち、住み続けたいまち」にしたいと考えています。

政策を着実に推進するためには、しっかりと計画と、財源確保が必要だと思いますが。



初登庁で職員にあいさつする小峰町長(7月19日、役場ロビーにて)

町長 国の平成27年度補正予算で、地方創生加速化交付金が措置されました。町は、「①空き家への移住促進」「②各種資源を活かした多世代の活躍(健康でアクティブな生活)」「③安心して住み続けられるまちを支える地域包括ケアの推進」を3本柱とする「鳩山町生涯活躍のまち構想推進による住宅団地アクティブ化・キックオフ事業」を

国に提出し、8000万円の交付決定を受けることができました。具体的な事業は、①では空き

た。この法律に基づき、町は昨年10月に「鳩山町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。ニュータウン再生と北部地域活性化は、この総合戦略と泉井及び上熊井地区活性化取組方針を基本計画として、地方創生事業に対する交付金などを活用して財源確保を図り、着実に進めたいと考えています。

まず、ニュータウン再生ですが、具体的にどのように進めるのですか。

町長 国の平成27年度補正予算で、地方創生加速化交付金が措置されました。町は、「①空き家への移住促進」「②各種資源を活かした多世代の活躍(健康でアクティブな生活)」「③安心して住み続けられるまちを支える地域包括ケアの推進」を3本柱とする「鳩山町生涯活躍のまち構想推進による住宅団地アクティブ化・キックオフ事業」を

国に提出し、8000万円の交付決定を受けることができました。具体的な事業は、①では空き

家バンクシステム構築と移住交流センターの整備、②では移住者(希望者)にも優しいコミュニティづくりや新規起業者を育てる拠点スペースの整備と大学コンソーシアムの設立支援、③では地域包括ケアセンターの地域交流スペース等での各種研修等を予定しています。なお、①の移住交流センターと②の拠点スペースは、西友の旧リビング館の活用を考えています。

北部地域活性化は、どのように進めるのですか。

町長 泉井及び上熊井地区活性化取組方針に基づき、活性化推進プログラムを策定しました。しかし、北部地域の活性化を「誰が、どのように担うのか」というソフト部分に関する事業については、複数年度にわたる詳細な計画と、財源確保が必要であり、今後の検討が課題となっています。

そこで、国の平成28年度当初予算で措置された地方創生推進交付金の活用を図るため、実施計画と地域再生法に基づく地域再生計画を作成し、国の審査を受けているところです。なお、作

成した実施計画では、「地域の生活環境」「観光客の満足度」「地域経済」の3つの要素が向上し、調和するような「新たな観光まちづくり」を提案しています。

最後に、町民の皆さんに一言お願いします。

町長 人口減少、少子高齢化について、厳しい数値が並んでいますが、私は鳩山町には町民の皆さんの底力があると感じています。その力を一つにし、「しっかりと前進し」「未来をみつめる」まちづくりに、全力で取り組みたいと考えています。

### 鳩山町長選挙結果

7月10日投開票の町長選挙の開票結果と投票結果は以下のとおりです。(敬称略)

#### 開票結果

小峰 孝雄	4,801票
松浪 健一郎	2,165票
野田 小百合	1,405票

#### 投票結果

投票所名	当日有権者数	投票者数(人)	投票率(%)
第1投票所 公民館亀井分館	769人	500人	65.02%
第2投票所 亀井農村センター	483人	304人	62.94%
第3投票所 上熊井集落センター	473人	330人	69.77%
第4投票所 今宿コミュニティセンター	3,894人	2,474人	63.53%
第5投票所 公民館石坂分館	1,583人	1,085人	68.54%
第6投票所 鳩山小学校体育館	2,156人	1,499人	69.53%
第7投票所 ふれあいセンター	3,274人	2,300人	70.25%
合計	12,632人	8,492人	67.23%

※同日行われた第24回参議院議員通常選挙の結果は、町ホームページをご覧ください。